ほけんだより

3月号

２０２２年３月
万博れんげ保育園

今年度も残り1か月となりました。４月からの進級、進学に向け、子どもたちのワクワクしている様子が見られます。今年度も新型コロナウイルスのため、通常の園生活とは異なることも多くあり、様々なご協力もいただきながらの開園となりました。来年度も感染対策に気をつけながらになると思いますが、来年度もどうぞよろしくお願いします。引き続き、病気やけがに気を付け、残りの日々も楽しく過ごしましょう。

２月の感染症情報

２月は１か月登園自粛のご協力をいただいていたこともあり、感染症も少なく、感染性胃腸炎1名のみでした。

新型コロナウイルスは、依然未就学児も多く、大阪では1日の未就学児感染者が1000人以上の日もまだあります。陽性率も高い状態が続いています。
オミクロン株は感染力が強く家族全員が陽性になる可能性も高いとされていましたが、さらに感染力・重症化が強いとされているステルスオミクロン株の流行も懸念されており、引き続き気をつけなければなりませんね。
職員も職域接種等で3月から徐々に3回目接種を開始する予定になっています。

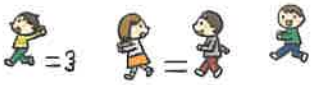
怪我の際のお願い

園で怪我をしたときは絆創膏をはることがあります。園で貼った絆創膏は必ずお風呂に入る時には剥がし、傷口を洗って清潔にし、傷の様子をみていただくようお願いします。もう貼る必要がなさそうな場合はそのままはずしていただいて構いません。(絆創膏を数日貼ったままの状態では逆に化膿してしまうことがあります)

幼児には傷の状態によっては看護師が判断して、しっかり洗浄した後にキズパワーパットを貼る事があります。キズパワーパットは腫れ・赤み・痛みなど感染が疑われる状態でなければ数日貼ったままの状態でもいいとされていますが、園で貼った場合は約2日を目安に剥がして傷を確認していただくようお願いします。

子どもの体力低下について

ここ数年、子どもの体力低下や肥満が問題となっており、2年前に新型コロナウイルスが流行してからは特に問題になっています。スポーツ庁が小中学生に調査した今年度の体力運動調査結果では、今までの調査より大きく低下した結果が発表されました。



未就学児も同様の問題があると思います。保健のしおりでも記載している通り、子どもの怪我は成長過程や身体づくりで必要なこともあります。しかし、当園でも最近の怪我の傾向として、気持ちと体力が伴わない時も多いためか、遊んでいても転ぶことが多かったり、転んだ時にすぐに手が出ず、顔を怪我することが多い傾向にあります。園庭で遊んで間もなく「疲れたー」という言葉もよく聞かれます。
コロナ禍で、感染対策のためにも例年よりステイホームの時間がどうしても多くなりますよね。
当園でも最近の傾向やクラスの特徴などを踏まえて、こういう身体づくりを取り入れた方がいい、この遊具の使い方はこうしていったほうがいい、などを担任中心に職員間で話して取り組んでいます。

ずり這い・ハイハイの重要性

コロナとは直接関係ありませんが、近年は乳児期にハイハイをあまりせずつかまり立ちや歩き始める子が増えているとよくいわれています。
ハイハイは赤ちゃんにとってはとても大切な成長過程で、腕脚腰など全身の筋肉を鍛えるだけではなく、バランス感覚も鍛えられます。ハイハイやずり這いをすることで早い時期から行動範囲が増え、たくさんの刺激をうけることができるため精神発達にも脳の発達にもいい影響がでると言われています。
現在のわかば組さんは皆歩ける月齢ではありますが、0歳児の前期の部屋づくりはそのような点も考慮して環境づくりを行っています。

年齢によって、遊び方や身体づくりの方法は変わってきます。
おうちでも園でも様々な点から丈夫な身体づくりを目指していきましょう！